

Mizuho Daily Market Report

2023/4/26

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	134.17	133.76	▲0.48	▲0.36
EUR	1.1031	1.0973	▲0.0073	+0.0001
AUD	0.6659	0.6626	▲0.0070	▲0.0099
SGD	1.3362	1.3386	+0.0052	+0.0059
CNY	6.9182	6.9326	+0.0368	+0.0564
MYR	4.4489	4.4500	+0.0127	+0.0162
THB	34.37	34.38	▲0.01	+0.09
IDR	14941	14845	+0	+0
PHP	55.54	55.54	▲0.25	▲0.60
INR	81.94	81.92	+0.01	▲0.12

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.400%	▲9.1 bp	▲17.6 bp
日本(10年)	0.479%	+0.6 bp	+0.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.384%	▲12.4 bp	▲9.3 bp
オーストラリア(5年)	3.206%	+0.0 bp	+2.1 bp
シンガポール(5年)	2.847%	▲1.3 bp	+0.4 bp
中国(5年)	2.662%	+0.2 bp	▲1.2 bp
マレーシア(5年)	3.424%	▲7.0 bp	▲9.6 bp
タイ(5年)	2.083%	▲0.1 bp	▲1.6 bp
インドネシア(5年)	6.412%	+0.0 bp	+0.0 bp
フィリピン(5年)	5.857%	+1.6 bp	▲1.2 bp
インド(5年)	7.013%	+0.7 bp	▲3.9 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,530.83	▲1.0%	▲1.3%
N225(日本)	28,620.07	+0.1%	▲0.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,377.85	▲0.5%	▲0.4%
ASX(オーストラリア)	4,285.93	▲0.2%	▲0.3%
FTSTI(シンガポール)	3,296.56	▲0.8%	▲0.4%
SSEC(中国)	3,264.87	▲0.3%	▲3.8%
KLSE(マレーシア)	1,425.19	+0.2%	▲0.5%
SETI(タイ)	1,540.20	▲1.1%	▲3.4%
JKSE(インドネシア)	6,821.807	+0.0%	+0.0%
PSE(フィリピン)	6,593.39	▲0.1%	+2.0%
SENSEX(インド)	60,130.71	+0.1%	+0.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	268.78	▲1.4%	▲3.6%
金	1,997.39	+0.4%	▲0.4%
原油(WTI)	77.07	▲2.1%	▲4.7%
銅	8,506.00	▲2.3%	▲5.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	133.30	-	135.00
EUR/USD	1.0920	-	1.1050
AUD/USD	0.6580	-	0.6700
USD/SGD	1.3320	-	1.3420
USD/CNY	6.9000	-	6.9500
USD/MYR	4.4250	-	4.4750
USD/THB	34.20	-	34.55
USD/IDR	14830	-	15000
USD/PHP	55.50	-	56.10
USD/INR	81.80	-	82.20

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は134円台前半で取引開始後、公示仲値決定のタイミングにかけ小幅上昇。前日の米地銀問題再燃が意識され米金利低下に転じる中、ドル円は短期的に下落するも、植田日銀総裁のYCC継続に関する発言を受け134円台前半まで反発。アジア時間午後にかけては円売りの流れも一巡し米金利低下の動きに連動する形で下落に転じ、134円台前半まで値を戻して海外時間へ渡った。

アジア通貨は米地銀問題が再燃する中、リスク回避的な値動きとなり小幅に下落。シンガポール3月のCPIが発表され事前予想通りとなる前年比+5.5%となり、市場の反応は限定的。

海外市場のドル円は欧州時間、アジア時間の流れを引き継ぎドル売りが優勢となる中133円台後半まで下落する局面も見られたが、米金利が下げ止まる中134円台へ値を戻して米州時間へ。米州時間朝方に発表された米2月FHFA住宅価格指数(前月比)は予想を上回り、続いて発表された米3月新築住宅販売件数も予想を上回ったものの、並んで発表された米4月コアインフレ率消費者信頼感も同時に進行したことから、133円台後半のレンジで推移。米州時間午後は米金利低下に伴い、安値となる133円台前半まで下落するも、その後は下げ渋り小幅反発。133円台前半までクローズした。

【金利】

昨日の米金利市場は、大幅低下。中期で特に低下し、イールドカーブはブルスティープ化。前日引け後に米ファーストリパブリック銀行の預金が減少したとの報道より朝方よりリスクオフ地合が強まり、債券買いが優勢となった。また本日発表のコンファレンスボード消費者信頼感指数の数字も弱いものとなり、日中も買い優勢が持続した。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。米地銀に関する懸念が再燃している中、円が買われやすい地合いとなろう。一方で、昨日の植田日銀総裁は今週予定される政策決定会合においてYCCを継続すると示唆しており、積極的な円買いともならず値幅は限定的となるか。

【本日の予定】

(日本) 国債入札(2Y)
(アジア) 1Q 豪 CPI / CPI-リム平均値 / CPI加重中央値
(アジア) 3月 NZ ANZ Trucometer
(アジア) 3月 NZ 貿易収支
(アジア) 3月 シンガポール 鉱工業生産
(アジア) 3月 タイ 製造業生産指数
(アジア) 3月 タイ 設備稼働率指数ISIC
(アジア) 3月 豪 CPI
(アジア) 4月 韓国 消費者信頼感
(欧州) 1Q 仏 求職者数合計
(欧州) 2月 西 住宅融資総額 / 住宅ローン承認
(欧州) 4月 仏 消費者信頼感
(欧州) 5月 独 GfK消費者信頼感
(欧州) 伊 国債入札(6M)
(欧州) 独 国債入札(15Y)
(米国) 3月 前渡商品貿易収支 / 卸売在庫(速)
(米国) 3月 小売在庫 / 耐久財受注(速) / 製造業受注-資本財(速)
(米国) FRN入札(2Y)
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(5Y)
(米国) 米韓首脳会談(ワシントン)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。